

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成28年1月22日

協議会名:平取町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
平取町	<p>【本町・荷菜地区】 対象者：路線バスのバス停から遠い地区に住む荷菜地区及び本町みどりが丘地区の住民 運行方法：1日9便設定(5.2km)、デマンド運行方式、1回100円</p> <p>【振内地区】 対象者：路線バス停から遠い地区に住む山手地区、池売地区などの住民 運行方法：1日5便設定(9.8km)、デマンド運行方式、1回100円</p>	<p>利用者の増加に向け、利用者ニーズの把握及び広報・周知の継続的な実施について指摘を受けた。今年度の運行では、振内地区において利用者からニーズのあがった乗車場所の追加・運行ダイヤの見直しを行うなどの利便性向上策を実施するとともに、案内チラシによる広報を継続的に実施した。</p>	<p>A 計画どおり事業は適切に実施された</p>	<p>B 【目標1:高齢者等の移動手段の確保】 -本町・荷菜地区：2.6人/日(目標3.0人/日、H26:2.9人/日) -振内地区：1.1人/日(目標1.7人/日、H26:1.5人/日) ⇒本町・荷菜地区は昨年度実績よりも延べ利用者数が約1割減少し目標には未到達であった。 ⇒振内地区は昨年度実績よりも延べ利用者数が約3割減少し目標には未到達であった。</p> <p>【目標2:地域活性化の推進】 ⇒地域活性化の推進を目指し、デマンド型交通車内において町内でのイベント周知を実施。</p>	<p>-地域のイベントの終了、多頻度利用者の施設への入所等により昨年度に比べ利用者は減少したが、本町・荷菜地区、振内地区ともに新規利用者いたことから、案内チラシ等による広報・周知を継続的に実施 -運行事業者を通じた利用者へのニーズ・満足度の把握を行い、運行ダイヤ等の見直しを検討・実施 -町内で実施されるイベントの情報など地域活性化に資する広報をバス車内で継続的に実施</p>

事業実施と生活交通ネットワーク計画との関連について

平成28年1月22日

協議会名:	平取町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>・平取町はバス路線から離れた箇所に集落、人家が点在しており、バス利用困難な高齢者等が存在している。そのため、平取町における高齢者の移動満足度は、町民全体の移動満足度72.2%※に対して、68.3%※に留まっている。 (※H21年7月 調査時点)</p> <p>・また、路線バスの乗車率が低く、バスの効率性が悪いなどの課題があり、平取町が民間バス事業者の赤字分を補填し、町民の足を確保している状況である。</p> <p>・このような状況のなか、効率的で利便性の高い公共交通の確立を目指し、「平取町地域公共交通総合連携計画」を平成21年度に策定した。</p> <p>・計画に基づき、平成23年度には、地域間交通ネットワーク(日高縦貫線・日高沿岸線)に接続する交通として、予約運行方式によるデマンド型交通(フィーダー系統)の実証運行を実施し、翌平成24年度から本格運行を開始したところである。</p> <p>・上記のデマンド型交通により、高齢者等の移動性を向上させるとともに、路線バスの利便性向上を図ることが必要である。</p>

平取町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

- ・平取町はバス路線から離れた箇所に集落、人家が点在しており、バス利用困難な高齢者等が存在している。
- ・また、路線バスの乗車率が低く、平取町が民間バス事業者の赤字分を補填し、町民の足を確保している状況にある。
- ・このような状況の中、効率的で利便性の高い公共交通の確立を目指し、「平取町地域公共交通総合連携計画」を平成21年度に策定した。
- ・策定した計画に基づき、デマンド型交通(フィーダー系統)の本格運行を平成24年度から開始したところである。

生活交通ネットワーク計画の目標

【目標1: 高齢者等の移動手段の確保】

指標	地区	現状*	目標
高齢者等のデマンド型交通の利用者数(人/日)	本町・荷葉地区	2.5 人/日	3.0 人/日
	振内地区	1.4 人/日	1.7 人/日

※現状はH23年度 利用実績

【目標2: 地域活性化の推進】

⇒地域活性化ツールのひとつとしてデマンド型交通を運用

平成27年度事業概要

本町・荷葉地区

対象者 : 路線バスのバス停から遠い地区に住む荷葉地区及び本町みどりが丘地区の住民
運行方法 : 1日9便設定(5.2km)、デマンド運行方式、1回100円

振内地区

対象者 : 路線バス停から遠い地区に住む山手地区、池売地区などの住民
運行方法 : 1日5便設定(9.8km)、デマンド運行方式、1回100円

地域公共交通の現況

- ・道南バス(株)
⇒日高縦貫線、日高沿岸線
- ・町営バス(自家用有償旅客運送)
- ・小中学生の通学用スクールバス
- ・タクシー2社

協議会開催状況

- ・平成27年6月26日 第1回協議会を開催
⇒生活交通ネットワーク計画について 等
- ・平成28年1月22日 第2回協議会を開催
⇒デマンド型交通の結果報告 等
地域公共交通確保維持改善事業・事業評価

平成27年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・振内地区において、利用者からニーズのあがった乗降場所(役場 振内支所)の追加、ダイヤの見直しを行い、利便性向上を図った。
- ・本町・荷菜地区、振内地区ともに案内チラシを配布するなど利用促進に関するPR活動を実施した。
- ・地域活性化の推進を目指し、デマンド型交通車内において町内でのイベント周知の実施した。

3) 利用実績

- ・本町・荷菜地区では、本町地区で実施されていたイベント(医療機器販売)が終了した影響等により、延べ利用者数が昨年度に比べ約1割(102人)減少。
- ・振内地区では、昨年度までの多頻度利用者が施設等へ入所したことが影響し、延べ利用者数が昨年度に比べ約3割(165人)減少。

【本町・荷菜地区】



【振内地区】



4) 収入実績

単位:円

地区	H27年度												H26年度	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	合計
本町・荷菜地区	7,200	7,300	10,900	7,300	9,200	10,900	6,600	6,300	7,900	8,800	6,200	5,600	94,200	104,400
振内地区	3,200	3,000	5,500	3,200	4,000	3,100	2,900	3,200	2,100	2,900	3,100	2,000	38,200	54,700
合計	10,400	10,300	16,400	10,500	13,200	14,000	9,500	9,500	10,000	11,700	9,300	7,600	132,400	159,100

2) 運行系統



5) 事業実施の適切性

- ・計画どおり事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

【目標1: 高齢者等の移動手段の確保(1日あたり利用者数)】

- ・本町・荷葉地区: 2.6人/日(目標3.0人/日、H26: 2.9人/日)
- ・振内地区: 1.1人/日(目標1.7人/日、H26: 1.5人/日)

⇒本町・荷葉地区は昨年度実績よりも延べ利用者が約1割減少し、目標には未到達であった。

⇒振内地区は昨年度実績よりも延べ利用者数が約3割減少し、目標には未到達であった。

【目標2: 地域活性化の推進】

⇒地域活性化の推進を目指し、デマンド型交通車内において町内でのイベント周知を実施。

7) 事業の今後の改善点

- ・地域のイベントの終了、多頻度利用者の施設への入所等により昨年度に比べ利用者は減少したが、本町・荷葉地区、振内地区ともに新規利用者いたことから、案内チラシ等による広報・周知を継続的に実施
- ・運行事業者を通じた利用者へのニーズ・満足度の把握を行い、運行ダイヤ等の見直しを検討・実施
- ・町内で実施されるイベントの情報など地域活性化に資する広報をバス車内で継続的に実施

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄